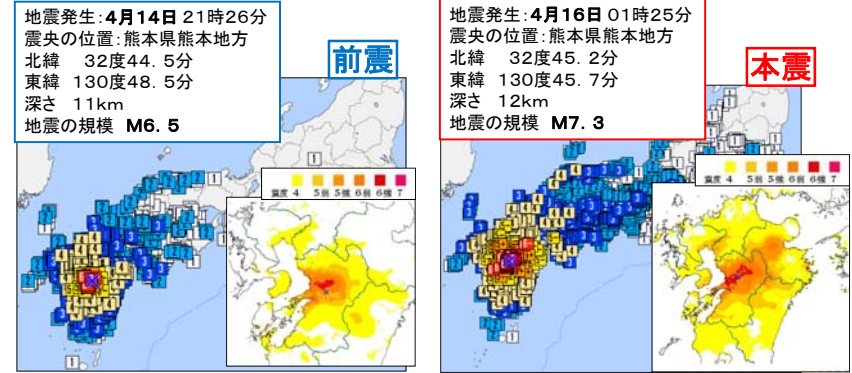




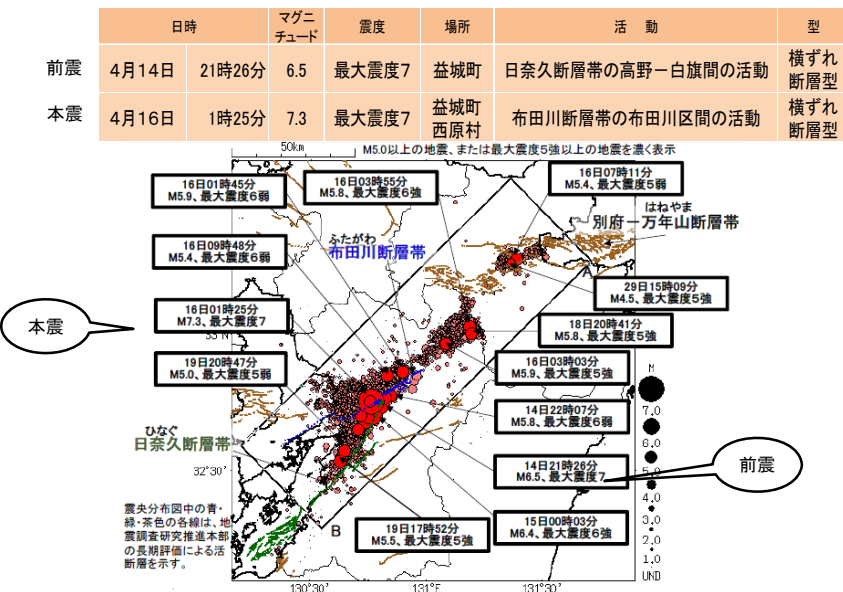
○平成28年4月14日、21時26分に熊本県益城町で最大震度7を観測する地震
前震が発生し、熊本県は災害対策本部を設置した。

○さらに4月16日1時25分には、益城町、西原村で最大震度7を観測する地震
本震が発生した。

○一連の地震活動の中で、震度7を2回観測したのは観測史上、初めて。



震源(熊本地方)付近の状況



震度別地震回数

●震度7の地震が立て続けに2回発生
(観測史上初)

●一連の地震で震度6弱以上の地震が7回発生
(観測史上初)

●余震の発生回数は、5月20日現在で1500回以上

〔防災から15日間での余震の回数〕

熊本地震 1,028回
阪神・淡路大震災 230回
新潟県中越地震 680回

日付	最大震度別回数								震度1以上を観測した回数		
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	回数	累計
4月14日	12	10	6	9	1		1		1	40	40
4月15日	30	51	19	10	1					112	152
4月16日	20	70	67	36	4	1	2	1	1	202	354
4月17日	29	70	28	11						138	492
4月18日	19	33	22	4						79	571
4月19日	24	33	20	2	1	1				81	652
4月20日	18	40	15	1						74	726
4月21日	9	26	11	2						48	774
4月22日	12	24	4	1						41	815
4月23日	14	13	1							28	843
4月24日	15	8	7							30	873
4月25日	9	14		1						24	897
4月26日	19	6	5							30	927
4月27日	34	11	4							49	976
4月28日	34	13	2	3						52	1,028
4月29日	15	10	7							32	1,061
4月30日	19	11	2			1				32	1,093
5月1日	24	9	3							36	1,129
5月2日	22	10	1							33	1,162
5月3日	18	5	2							25	1,187
5月4日	13	10	3	3						29	1,216
5月5日	23	10	3	3						39	1,255
5月6日	14	7	4	3						25	1,280
5月7日	13	6	2	1						21	1,301
5月8日	23	8	1	1						32	1,333
5月9日	20	3	3							26	1,359
5月10日	6	6	3							15	1,374
5月11日	12	3	1							16	1,390
5月12日	9	5	1	1						16	1,406
5月13日	12	4	1	1						18	1,424
5月14日	15	4	3							22	1,446
5月15日	12	1	2							15	1,461
5月16日	10	2								12	1,473
5月17日	6	3	1							10	1,483
5月18日	8	4	1							13	1,496
5月19日	5	5								10	1,506
5月20日	4	3	1							13	1,519

被害の概要

(1) 人的被害 人的被害は、計1,746人

	人数
死者	69人
行方不明者	1人
重傷者	359人
軽傷者	1,259人
分類未確定	58人
計	1,746人

<死者の内訳>

①警察が検視により確認している死者数 49人

②震災後における災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病により死亡したと思われる死者数 20人※
(以後、「災害関連死」と表記)

※ 正式には市町村等に設置される審査会を経て決定

(2) 住家被害 住家被害は、約8万8千棟

	被害棟数
全壊	7,633棟
半壊	16,278棟
一部損壊	64,549棟
計	88,460棟

(注) 熊本市ほか一部市町村では、罹災証明申請件数ベースで計上されているため、複数の世帯が入居するマンションなどが重複して計上されている可能性があります。

(3) 避難所及び避難者数 避難所への避難者は、9千人超

24市町村
避難所数 217カ所
避難者数 9,838人

【参考】最大時 (H28. 4. 17時点)

38市町村
避難所数 856カ所
避難者数 183,882人

4

熊本地震の規模

- 震度6弱以上の地震が7回、うち震度7は28時間内に2回発生(観測史上初)
- 震度6弱以上の大地震に見舞われた県民は本県人口の83%に及び、少なくとも県民の10%以上が避難(阪神・淡路大震災の約2倍)
- 危険と判定された建物は1万4千棟超(阪神・淡路大震災の2倍以上)

熊本地震の規模、県全体に与える影響は、既に阪神・淡路大震災級 地震・被害の規模

	震度6弱以上	余震 発災から15日 間	被災市町村人口 (震度6弱以上)	最大避難者数 ※1	被災建築物 応急危険判定 ※2
熊本地震	7回 うち震度7が2回	1,028回	約148万人 (県人口の約83%)	約18.4万人 (県人口の10.3%)	14,722棟
阪神・淡路大震災	1回	230回	約232万人 (同42%)	約31.7万人 (同5.7%)	6,476棟
新潟県中越地震	5回	680回	約38万人 (同16%)	約10.3万人 (同4.2%)	5,243棟

5

公共土木施設被災状況

	(県管理分)		(市町村管理分)		(合計)	
	(箇所数)	(被害額)	(箇所数)	(被害額)	(箇所数)	(被害額)
合計	542箇所	480億円	2,901箇所	1,230億円	3,443箇所	1,710億円
河川	185箇所	99億円	279箇所	37億円	464箇所	136億円
海岸(港湾分)	3箇所	3億円	—	—	3箇所	3億円
砂防	45箇所	12億円	—	—	45箇所	12億円
急傾斜地	3箇所	1億円	1箇所	0.4億円	4箇所	1.4億円
道路	270箇所	158億円	2,118箇所	197億円	2,388箇所	355億円
橋梁	26箇所	175億円	351箇所	323億円	377箇所	498億円
港湾	6箇所	10億円	—	—	6箇所	10億円
下水道	1箇所	12億円	26箇所	319億円	27箇所	331億円
公園	3箇所	9億円	126箇所	353億円	129箇所	362億円

※「国土交通省所管公共土木施設被害報告概要」(平成28年4月28日現在)より、熊本県及び市町村分を抜粋し集計(国土交通省HPより)



矢形川(益城町)堤防電裂



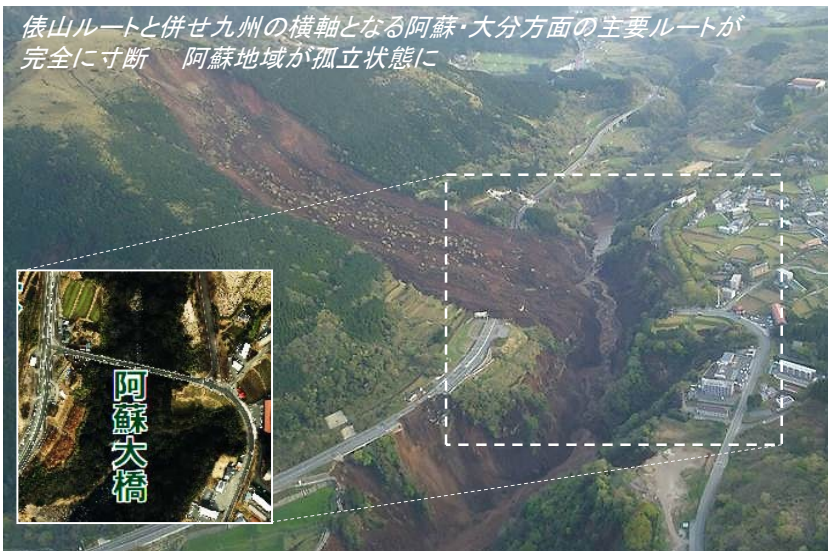
国道443号(益城町)路面陥没



三王谷(南阿蘇村)土石流

6

阿蘇立野地区被災状況



俵山ルートと併せ九州の横軸となる阿蘇・大分方面の主要ルートが完全に寸断 阿蘇地域が孤立状態に



阿蘇大橋

7

阿蘇立野地区被災状況



8

県道熊本高森線(俵山ルート)の被災状況



9

公共土木施設被災状況(河川)



10

公共土木施設被災状況(砂防)



11

公共土木施設被災状況(道路)



内牧停車場線(阿蘇市狩尾)



国道445号(御船町)斜面崩壊



阿蘇市道(阿蘇市)路面隆起



国道443号(益城寺迫)路面陥没

公共土木施設被災状況(橋梁)



九州自動車道上の落橋



俄山大橋(県道熊本高森線)(西原村)段差



横江大橋(県道八代不知火線)(八代市)橋台の沈下



桑輪大橋(県道熊本高森線)(西原村)段差

公共土木施設被災状況(港湾)



熊本港(熊本市)液状化



熊本港(熊本市)段差



熊本港(熊本市)液状化



熊本港(熊本市)人道橋 段差

公共土木施設被災状況(下水道)



阿蘇市管渠被災状況



阿蘇市浄化センター漏水状況

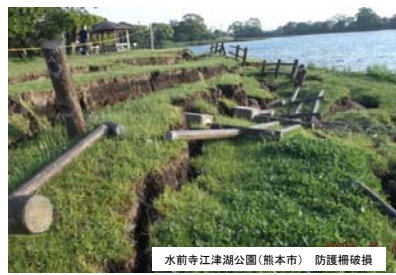


益城町管渠被災状況



嘉島町管渠被災状況

公共土木施設被災状況(公園)



その他の被災状況



公共施設の被災状況



市街地の被災状況

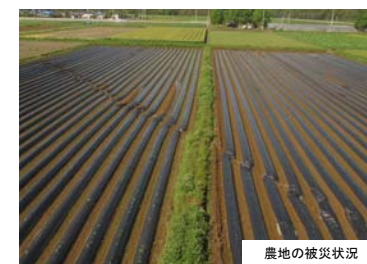
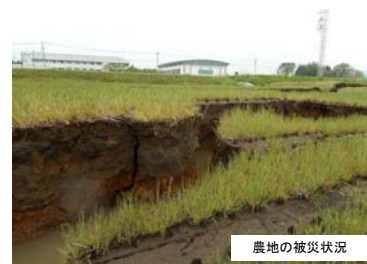


液状化の状況



20

農地の被災状況



21

熊本城の被災状況



22

復旧・復興に向けて

◎復旧・復興の3原則

1. 被災者の痛みの最小化
2. 創造的復興
3. 熊本の更なる発展につなげる

23